

憲法が活かされる 職場・社会を実現しよう



日本医療労働組合連合会
中央執行委員長 **森田 しのぶ**



あけましておめでとうござ
います。昨年一年間、皆さんの
職場・地域での様々な奮闘に
敬意を表します。

今年は憲法の「改憲・発議」
を許すのか否か、日本の針路
を左右する大きな山場とな
ります。安倍政権は、発足か
らの6年で、国民世論を無視
し、安保法制、働き方改革関
連法、入管法などを数の力で
強行成立させてきました。さ
らに、沖縄県民の民意を無視
しての辺野古新基地・高江オ
スプレイ・パッド建設や日本全国
にオスプレイ、イージス・アショ
ア配備など、アメリカと大企業
優先の政策を進めています。
社会保障費は年々削減しなが
ら、防衛費は膨張しつづけ、貧
困と格差は拡大しています。

医療・社会保障の改悪は、憲
法25条が保障している国民の
健康権・生存権を脅かすもの
です。2018年秋の臨時国会
では、「憲法改正・発議」の審議
を狙っていましたが、市民と野
党の共闘で断念させました。

安倍政権は、「全世代型社
会保障改革」として、消費税
増税をセットとした教育の無
償化、女性の活躍、一億総活
躍の社会を創り上げるとして
います。社会保障の拡充を求
める国民の願いに背を向け、全
世代への負担増を強いること
は明らかです。

地震や豪雨・台風など大災
害にみまわれた被災地から見
えてきたのは、命を最優先に
しない政治の現実と、その政治
を変えていく必要性です。

今年は統一地方選挙・参議
院選挙があります。国民の要
求実現を公約する政党・候補
者の選択で安倍暴走政治にス
トップをかけましょう。

組織を大きく強くしつつ、
大幅賃上げ・人間らしく働き
続けられる真の働くルールの
確立、憲法が活かされる職場・
社会の実現を目指す一年に、
全組合員一丸となつて前進し
ましょう！

組合員の皆様のご健勝と
ご活躍を祈念いたします。



賃上げ、社会保障充実で 経済の好循環を **学習講演**

下関市立大学
関野秀明教授
主優遇のために
労働者が切り捨
てられている。
労働組合の課
題は何か。一つ

アベノミクスは「貧困と格
差」を広げた。標準生計費は
アベノミクスになってから下
がっている。実質賃金も4%
ほど下がった。賃金が伸びて
いないから家計は消費を減ら
ざるを得ない。実質可処分
所得も30年前に逆戻りしてい
る。雇用は増えているが、大
半が65歳以降。年金では食べ
ていけないから働いている高
齢者が増えたということ。加
えて、非正規で低賃金の仕事
が増えたということ。一方で
大企業はもうけのため込み、
株主への配当も5・73倍。株

は、賃金为主导するような経
済成長に転換していくこと。
日本のGDPの6割が個人消
費。所得が増えて、はじめて
個人消費や設備投資が伸び、
経済も成長する。二つ目は「働
き方改革」。長時間労働を規
制すると言いつつ、長時間労働を
インを合法化するとんでもない
法律。過労死を根絶するた
めに上限規制と勤務間隔規制
が必要。三つ目は社会保障の
充実。脆弱な社会保障と働く
貧困とが「貧困の悪循環」を
つくっている。大企業や富裕
層の少しい負担で、社会保障
を充実する。賃金主導、福祉
主導の経済成長で、税収を増
やし社会保障を良くする、そ
うした好循環が実現できると
思う。

19春闘討論集会

「統一闘争強化」 「大幅賃上げ」実現へ

日本医労連は11月29日、新潟県越後湯沢温泉「湯沢ニューオータニ」において
「2019春闘討論集会」を開催しました。6全国組合38県医労連から162人が参加
し、春闘情勢の学習と春闘構想に基づき熱心な討論を行いました。

開会にあたり、森田しのぶ
中央執行委員長は、「政府が
推進する『働き方改革』は、
恒常的な人手不足や過重労働
で疲弊した医療・介護現場の
改善にはなりません。だれも
が8時間働けば人間らしく生
活できる賃金・労働条件の獲
得こそ、よりよい医療・介
護が実現でき、景気の好循環
と社会の健全な発展が実現で
きます。2019年は統一地
方選挙・参議院選挙がありま
す。安倍暴走政治にストップ
をかけ、平和で人間らしく生
き・働ける社会に転換させま
しょう」と挨拶しました。

下関市立大学経済学部経済
学科教授の関野秀明氏が「19
春闘の展望―賃上げ、真の働
き方改革、社会保障の充実へ」
と題して講演。その後、森田
書記長が春闘構想を報告しま
した。森田書記長は、「生計
費原則」に基づく要求討議を
すすめ、引き続き「月額平均
4万円以上」「時給は誰でも
2500円以上」の賃上げを日
本医労連の統一要求としてか
かげ19春闘をたたかうことを
提案。全国一律最賃制度の実
現のため、全労連「全国最賃
アクションプラン」に結集し、
全国各地でも8時間労働でま
ともな暮らしができる最低賃
金をめざして取り組みを強化
すること、日本医労連「全国
最賃アクションプラン」にす
べての加盟組織が取り組み、
特定最賃の新設をめざすこと
を強調しました。

春闘構想を受けて、参加者
は9つの分散会にわかれ、①
安倍政治とのたたかい(憲法
改悪阻止、働き方改革を実行
させないたたかい)、②生計
費原則に基づいた賃金要求
(最賃引上げと大幅賃上げの
同時追及)、③産別統一闘争
への結果強化の3点を柱に討
論を行いました。

分科会と並行して「争議対
策会議」を開催しました(次
頁参照)。不当解雇・不当配
転や不当労働行為撤回を求め
てたたかう争議当該組合・県
医労連から11人が参加し、す
べての争議の早期解決に向け
て全体で奮闘する決意を確認
しました。

熊本医労連
そよ風裁判門前集会



たたかってこそすべての争議解決を 労働者の権利は守られる

第41回争議対策会議

日本医労連は、11月29日～11月30日、この間の争議でのたたかひの教訓を交流し、全面解決をめざす意思統一をすすめることを目的に、第41回争議対策会議を開催しました。

2018年11月現在、係争中の争議は5加盟組織(2全国組合、3県医労連)で5件、前回対策会議以降、9件の争議が解決(終結)しました。

たたかひを産別全体で支えるために、春闘討論集会の全体集会においても争議組合を紹介しました。

会議ではまず、三浦組織共同局長が基調報告を行い、その後、各争議組合から状況報告を受けて、たたかひを交流しました。基調報告では、この間のたたかひの中で組織を増やし、要求を前進させた教訓的な取り組みや勝ち取った成果に学び、広げていくこと、組合の日常活動を強化してい

くことの重要性が強調されました。各組合からの報告では、不当解雇・不当配転でたたかっている全JCHO労組相模野病院支部や熊本県医労連熊本医療福祉労働組合(障がい者施設そよ風)、分会長への不当な攻撃とたたかう東京医労連たんぼほ分会、看護師の勤務表作成での協約締結拒否をめぐってたたかっている全医労旭川病院支部、組合差別・不利益変更でたたかっている北海道医労連恵和会労働組合から報告がありました。それぞれの報告から、たたかひこそ労働者・労働組合の権利が守られることや個々の争議

は全ての労働者・労働組合の問題であることを改めて確認しました。そして、争議組合のたたかひの基本として、裁判や労働委員会でのたたかひのみならず、職場での日常活動を強めること、その活動が職場の組合員の信頼と団結につながり、仲間を増やすことにも繋がること、労働者・労働組合への不当な攻撃は断じて許さない決意で他産業や地域の争議への連帯を強めること、の重要性を確認しました。

日本医労連の争議勝利をめざす基本方針は「一人の仲間への攻撃も産別全体の力で守り抜く」です。働くものの権利と人間の尊厳をかけてたたかひをすすめる、生活面でも精神面でも厳しいたたかひを強いられる仲間たちへの支援と連帯行動を一層強めていきたいと思います。



全日赤
中村健一書記長

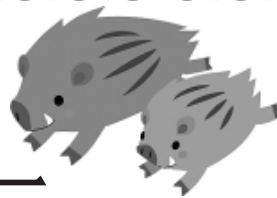
全日赤は、日赤本社の「人動準拠」方針に対して、人事院勧告を待たず春闘での自主交渉・自主決着を行うべく「人動準拠反対」を賃金交渉の基本方針としてたたかっています。2019春闘においても大幅賃上げを目指して春闘決着を勝ち取るため、まず世間の賃上げ情勢を押し上げるため最低賃金の引き上げを重点課題として取り組みます。そして、「世間並み」と言いつつ経営状況が見えない日赤本社に対して、署名や寄せ書きなど職員の声を本社に突きつけ回答指定日翌日にはストを構えて賃上げを追及します。

看護師や介護職員の賃金・労働条件の改善は待ったなしの課題です。私の職場でも、介護職員不足で欠員が埋まりません。他のコメディカルもより良い賃金を求めて離職者が出ています。賃金と労働条件の改善は、より良い職場をつくるための最善策です。地域間格差を無くし、誰もがどこにいても安心して働ける医療と介護職の実現は、医療や介護を受ける側のQOLに通ずると信じています。「賃上げで増員」が今春闘での私たちのテーマです。最賃アップ・シフトランの具体化にむけて、全国のみならず、共に奮闘しましょう！



道北勤医労
宮越悠介書記長

19春闘 加いっばい 決意表明 たたかうぞー



専従となった11月は18秋闘まった中。一人ひとりの切実な生活実態を背景に闘い、個人的に手ごたえは感じつつも満足な回答を得られず。前進のためには「職員を犠牲にしない職場の実現」「結果が絶対条件」「開かれた労組として多くの声をすくい上げる」等々、新米専従者として基本をおろそかにできません。閉塞感が漂う情勢ですが、地域医療の守り手というプライド、やりがいを感じる職員の心に呼び起こし、胸を張って正当な要求を行う。そんな正道を歩むような19春闘にしていきたいと考えています。



川崎医療
生協労組
八木橋亮書記長



岡山医療
生協労組
花田真人書記長

19春闘はこだわる春闘にしたい。「ベースアップにこだわる」「一人ひとりの対話にこだわる」「みんながつながることこだわる」。そして「政治にこだわる」。来年は、統一地方選挙、参議院選挙、さらに衆議院解散もあるかもしれない。わたし達の要求実現には政治が大きく関わっていること、いや、むしろ邪魔をしているのは今の政治ではないか？という事を学び「選挙に行こうぞ」と、行動する春闘にしたい。「ひっぱらない、みんなで押していく春闘」でベースアップを勝ち取りたい。

- ### 係争中の労働組合
- ・全JCHO労組相模野病院支部
 - ・東京医労連たんぼほ分会
 - ・熊本県熊本医療福祉労働組合(障がい者施設そよ風)
 - ・全医労旭川病院支部
 - ・北海道医労連恵和会労働組合



全医労旭川病院支部の朝ビラ



第18回 医療と介護にはたらく非正規労働者の全国交流集会

2018年11月17日(土)～11月18日(日)

仲間を増やし 要求を勝ちとろう

非正規労働者の全国交流集会

日本医労連は2018年11月17日～18日、静岡県伊東温泉暖香園を会場に「第18回医療と介護にはたらく非正規労働者の全国交流集会」を開催。全国から42人が参加しました。

初日は、「全国最賃アクションプランと日本医労連の運動」と題して、最賃引き上げの重要性とこれからの日本医労連の取り組みを日本医労連・森田進書記長が講演しました。特別報告は、「非正規ではたらく仲間」の組織化をすすめるために「東京医労連の取り組み方向」(東京医労連、「労組力」フェ開催の取り組み)「①こんなことがイヤ!ここを変え

たい! 職場の愚痴・不満・要求は?」「②組合は身近な存在ですか? 組合活動に、みんなが参加してる?」「③要求書をつくらせてみよう! 要求項目を考えよう」「④どうしたら仲間が増える? 要求を前進させるために職場でできることは?」の4項目に分け、①から順に意見を出し合い、付箋に書き出して、用紙に張り付けてもらいました。班ごとに要求をまとめ、どのようにしたら要求が実現できるのかを話し合い、最後に班ごとに報告してもらいました。どの班からも、今の現場は人手不足で募集しても集まらないことや、低賃金であることが問題と報告され、より良い職場をつくるための要求が多く出されました。

住民の願いにもとづく 地域医療の充実を

職場地域から156人参加

11月23日「第9回地域医療を守る運動全国交流集会」を都内で開催しました。主催は、同実行委員会。全国から156名が参加し、国が医療提供体制を縮小し、「ベッド削減ありき」の地域医療構想を具体化している状況の中で、住民の願いに基づき地域医療を拡充していく運動について経験交流しました。

地域医療は生活と人権を守る運動

午前中のシンポジウムのミニ講演は、横山壽一教授(佛教大学)が行いました。地域医療構想、1987年から進められている地域医療計画、医療費適正化計画が同時に進行し、地域の入院医療・在宅医療の在り方の再編・転換を



「都立病院の独法化を断念させ都民医療を守る取り組みについて」報告しました。

東京都は、都立8病院の地方独立行政法人化検討を2018年3月に決定しました。

8病院の職員7000人は、独法化となれば非公務員となり、雇用形態の激変が予想されます。こうした動きに対し、

「都立病院の充実を求める連絡会」(略称:連絡会)とともに共同行動を行っている各都立病院を守る会・存続させる会はずべての病院で結成され、

病院所在地域を中心に活動を強めています。採算性が低い災害時・周産期・小児・感染症・救命救急など救急全般・精神合併症及び救急・神経難病・へき地(島しょ)医療、貧困層への医療提供などを

守るため地方独立行政法人化を都に断念させるまで運動を大きく広げる決意を語りました。



介護ネット(仮)が知恵を出せたことを紹介し、社会保障への攻撃をチャンスに運動を進めていくと呼びかけました。

地域に出てみんな考えてよう

午後の全体会は、4人が特別報告を行い、参加者から各地の取り組みを交流しました。

特別報告では、全医労の香月書記長は、国立徳島病院を守る取り組みを報告しました。

続いて「鹿角の医療と福祉を考える市民市民の会」の中村さんは、秋田県鹿角地域の住民運動の取り組みについて

報告しました。岩手県医療局労働組合の高橋副委員長は、東日本大震災以降の被災地医療・再編までの取り組みと現状の課題について報告

をしました。特別報告の最後は津島・吉田病院局労働組合の石村書記長から西日本集中豪雨災害の経験から学んだことについて報告を受けました。

全体討論では、特別報告の後会場からは「困ったときには地域に出てみんなで考えよう」など多数の発言で各地の取り組みや教訓を交流しました。



読者のページ

◆初心にかえてゆくりと

神奈川県 桑原あきら

40年ほど前の学生時代、道勤医協のデモに一緒に参加した。当時より医労連に敬意を表しておりました。最近、医療現場で働くことになりました。当時と比べ、政治も労働運動の様子もすっかり変わっています。初心にかえりゆくり始動するつもりです。

◆看護学校教員の待遇改善も岡山県 安岡満利子
病院の仕事に戻って、残業手当がついていて新鮮でした。看護学校ではマルメの手当てがついていましたが、追いつかないほどの残業や持ち帰り仕事をしていました。看護

◆看護学校教員の待遇改善も岡山県 安岡満利子
病院の仕事に戻って、残業手当がついていて新鮮でした。看護学校ではマルメの手当てがついていましたが、追いつかないほどの残業や持ち帰り仕事をしていました。看護

第9回 地域医療を守る運動全国交流集会



「地域医療と公立病院を守る千葉県民連絡会」の長平さんは、千葉県の地域医療提供体制について報告。地域医療構想の問題で県への要請を重ね、特に自治体病院の存続充実という点では、自治体病院がどういった経緯で設立され、地域にどういったニーズがあるのか、役割について住民と共有すること、そして地域の中核病院として自治体病院が役割を果たしていくことが重要だと語りました。

年末年始の業務のお知らせ

医労連共済の年末年始業務は、年末は12月28日まで、新年は1月4日とさせていただきます。加入などの受付には次のようになります。よろしくお願いいたします。

- 【給付・加入関係】
●給付請求締切
12月28日・郵送到着分
→1月15日給付決定予定
●慶弔メール請求
(お助けソフトによるもの)
12月28日到着分まで
●加入受付
12月31日到着分まで
(FAX含む・郵便は1月4日到着分まで)
【事故などの受付】
●火災受付
住宅災害損害センター
03-3366-7908
●自動車共済
北海道 0120-252-924
東北 0120-246-250
関東 0120-898-819
中部 0120-365-625
西日本 0120-242-365
*火災・自動車ともに事故受付のみの対応です。一般業務の受付は行いません。
*休み中の留守番電話では、事故受付等のメッセージを流します。

医労連共済だより

ヨコのカギ

- 羽根を突くのに使います
- 神社に置かれている一組の魔よけの犬
- ゲレンデは一面が……世界
- 正月、玄関前に立てます
- 仕事ではなく趣味などにふけること。……息子
- 農民が水田に苗を植えるながら歌った……歌
- 「勝負」の反対語は?
- 経験すること。初……
- 商店で買い物をしたときにレジから打ち出される紙片
- タラヘリ、タラヘリと油汗を流すという……ガエル
- 大勢の人に向かって大声でする指図や命令
- 京都、奈良、鎌倉など
- おみくじを引いて……試し
- 石高百万石の……藩
- ユートピアは……郷
- 天変……の災害にご用心
- しし舞いの獅子のことで
- 結婚式で新郎新婦が三つの杯で酒を交互に飲む儀式
- じゃんけんの石
- 吸う人は肩身が狭い?
- 2019年、日本で開催のW杯
- エビで釣ることもある

答	A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---	---

新春クロスワード



【問題】二重ワクの文字をA~Fの順に並べてできる言葉はなに?
【作/モロズミ勝】

タテのカギ

- この花札の中にはイノシシの絵が描かれています
- イタリア・ベネチア名物の小舟
- 七福神に乗せた……船
- 回転させて遊ぶ正月の玩具
- キノコの王様?
- 輪郭だけの絵に色をつけて楽しめます
- 医者。……ストップ
- ハワイアン音楽で使われる四弦楽器
- パナマやスエズが有名です
- 平成の……が変わります
- 父母のきょうだいの子ども
- 漢詩と和歌のことです
- サリちゃんもカブも……使い
- 運送代や交通費のこと
- 2人はコンビ、3人は?
- 値打ちのない雑多な品物
- コマーシャル……、テーマ……
- 夜、魚を取るためにたく火
- 昭和の中ごろまで主婦が会議を開いたという場所
- 漫画「ちびまる子ちゃん」の作者は……ももこさん
- この言葉が2回続く花札ゲームもある

パズル正解&投稿募集

【パズル解答】第1700号の解答は「トシコシンバ」でした。正解者の中から抽選で当選者にクオカードを贈呈します。

【投稿募集】「読者のページ」は第4木曜日に掲載します。職場や身近のホットな話題をお寄せください。

【クロスワード応募先】
①組合(病院)名、②職種、

〒110-0013台東区入谷1-9-5「日本医労連教育宣伝局」まで。FAX 03-33875627
e-mail: n_ask@jrouren.or.jp



新春インタビュー

俳優

東ちづるさん

まぜこぜの社会をつくらうよ

どんな状況でもどんな状態でも誰も排除しない「まぜこぜの社会」を目指す「Get in touch」という団体を立ち上げたのは8年前の3・11がきっかけでした。

そのためには当事者が参加できて、関心がない人も巻き込んでいけるようにと、アートや音楽、舞台、映像などエントナーテインメント中心の活動を続けています。

友人や同僚、その家族などを見渡せば障害がある人も必ずいるはず。ところが表には見えづらい。障害者の存在が隠される背景には「迷惑をかける」「役立たない」「恥ずかしい」などいろいろな感情が重なっていますが、全部間違っています。

「大勢が集まるこんな素敵なカフェに親子で来られたのは初めてです」と。お店の人たちは一瞬にして、社会のことを知っています。そして「全ての人たちをウェルカムできるお店を作りたい」と。

従業員やお客さんの中には「実は私の息子もダウン症」と打ち明けたら、お店に一緒に訪れたりする人も出てきた。絵を通じて多様な人が社会に接点を持つ。そこから企業や従業員、地域が変わっていくんです。

「まぜこぜ社会の力」では、スターバックスコーヒーさんに障害のある作家さんのアート作品を常設展示してもらった活動も行っています。

「社会に役立たない障害者はいない」という犯行理由への賛意がSNSにあふれました。そして事件はあつという間に風化してしまった。「役

Get in touch
では、スターバックスコーヒーさんに障害のある作家さんのアート作品を常設展示してもらった活動も行っています。

Profile

あずまちづる 広島県出身。映画、ドラマ、コメンテーターなどで幅広く活躍。芸能活動のかたわら、戦争で傷ついた子どもたちを支援する「ドイツ平和村」や骨髄バンクなどのボランティア活動を25年以上続けている。2011年、アートや音楽などを通じて「まぜこぜの社会」を目指す一般社団法人「Get in touch」を設立し、理事長に就任。同法人が昨年制作した映画「私はワタシ over the rainbow」は、LGBTの当事者らのインタビューをまとめたドキュメンタリー作品。東さんは企画・インタビュアー・プロデューサーを務めた。

「連合通信・2019新年原稿特集号」

目標は彼らをアーティストとして羽ばたかせること。ところが予期しない副作用が起きているんです。

あるお店では、作家さんが展示作品を前に「今日初めて息子が人間扱いされました」とつぶやきました。ドキッとしたよね。また、

「大勢が集まるこんな素敵なカフェに親子で来られたのは初めてです」と。お店の人たちは一瞬にして、社会のことを知っています。そして「全ての人たちをウェルカムできるお店を作りたい」と。

従業員やお客さんの中には「実は私の息子もダウン症」と打ち明けたら、お店に一緒に訪れたりする人も出てきた。絵を通じて多様な人が社会に接点を持つ。そこから企業や従業員、地域が変わっていくんです。

「社会に役立たない障害者はいない」という犯行理由への賛意がSNSにあふれました。そして事件はあつという間に風化してしまった。「役

まぜこぜ社会の力

Get in touch
では、スターバックスコーヒーさんに障害のある作家さんのアート作品を常設展示してもらった活動も行っています。

誰もが働きやすい職場を

障害者やLGBTを意図して排除する人はそうはいないと思うんです。問題は「知らない」ってこと。

知的な遅れのある人が働き始めたある会社では、最初は周囲がイライラしたそうです。ところがその人にお茶当番をしたら、驚くくらいお話し。時間をかけて丁寧に入れるからです。仕事はゆとりだけど、手抜きはしないしきぼらない。部長が「頑張れよ」って声をかける

「うん! 部長さんも頑張ってるね」って。職場全体がなごやかな雰囲気になって、結果、営業成績も良くなったという例があります。

障害者を健常者に近づけるよう矯正して働かせるのは間違っていると思います。その人の適性に合った役割がきつとあります。障害者だけでなく、LGBTも含めて、マイノリティーが働きやすい職場は、誰にとっても働きやすい職場になるはずです。

日本医療労働組合連合会 書記局員募集

日本医療労働組合連合会（日本医労連）本部の書記局員を募集します。医療・福祉関係労働者の賃金・労働条件の改善、大幅増員をはじめ、安全安心の医療・福祉の確立にむけた労働運動に熱意のある方を募集します。

- 【募集人員】 若干名 労働組合経験のある方、優先します。
- 【募集条件】 要自動車免許、簡単なPC操作
- 【勤務地】 東京都台東区入谷1-9-5
- 【勤務条件等】 規定に基づく。（国家公務員に準ずる）
- 【応募方法】 履歴書（写真添付）、志望の動機（A4用紙1枚800字程度）を下記宛に送ってください。
- 【応募締切】 組織内推薦は2019年1月10日（木）まで。書類選考の上、面接の日程をお知らせします。
- 【面接予定】 2019年2月中旬
- 【採用予定日】 2019年3月1日（相談に必ず）

【問い合わせ・履歴書送付先】
〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館3階
日本医労連総務財政局（担当 吉村）電話03-3875-5871

第50回中央委員会のご案内

【日時】

2019年1月16日（水）13時30分開会
2019年1月17日（木）12時閉会予定

【会場】

【全国教育文化会館】
エデュカス東京・7階会議室

東京都千代田区二番町12-1

【議題】

- (1) 2018年度上半期決算報告
- (2) 第1号議案「2019年春闘方針（案）」
- (3) 第2号議案「争議支援金規定改定（案）」
- (4) 日本医労連共済事業報告
- (5) その他

【参加するにあたって】

中央委員会出席者の方は、事前配布した議案書を持参ください。

【保育の利用について】

保育所を設置します。本部書記局にご連絡ください。